



廻由美子 & 中川賢一



©Shuhei NEZU

YUMIKO MEGURI & KEN'ICHI NAKAGAWA PLAY
PIANO PIANO

春の祭典

IGOR STRAVINSKY

LE SACRE DU PRINTEMPS

+

バルトーク

BÉLA BARTÓK

with

神田佳子 & 佐々木啓恵

WITH YOSHIKO KANDA & HIROE SASAKI, PERCUSSION

●
ストラヴィンスキー

春の祭典 [2台ピアノ]

Igor Stravinsky : Le Sacré du Printemps, for piano duet

●
キース・エマーソン [榊原光裕編]

タルカス [2台ピアノとパーカッション]

Keith Emerson : Tarkus, arranged by Mitsuhiro Sakakibara

●
バルトーク

2台のピアノとパーカッションのためのソナタ

Béla Bartók : Sonata for two pianos and percussion

2014 6|13 (金) 19時開演

全席指定 一般 4,000円 学生 2,000円 ★好評発売中

チケットお取扱い 津田ホールチケットセンター 03-5355-1299 津田ホール オンラインチケットサービス <http://tsudahall.com/>

お問合せ 津田ホール 03-3402-1851 (JR千駄ヶ谷駅前・都営大江戸線国立競技場駅A4出口/駐車場はご利用いただけません)

■主催:津田塾大学 ■コンサートマネジメント:ミリオンコンサート協会



Tsuda Hall

津田ホール

廻由美子 & 中川賢一の

Yumiko Meguri & Ken'ichi Nakagawa play

“Le Sacre du Printemps”

「春の祭典」+ バルトーク with 神田佳子 & 佐々木啓恵

+ Bartók

with Yoshiko Kanda & Hiroe Sasaki



©Shunei NEZU

中川賢一 [ピアノ] Ken'ichi Nakagawa, piano
桐朋学園大学音楽学部ピアノ専攻卒業。同時に指揮も学ぶ。卒業後渡欧し、ベルギーのアントワープ音楽院ピアノ科最高課程、特別課程をそれぞれ優秀、首席の成績をおさめ修了。在学中にフォルテピアノ、チェンバロも習得。97年オランダのガウデアムス国際現代音楽コンクール第3位。ベルギー、パリ、イギリスなど各地の音楽祭に出演する。98年帰国後は、ソロ、室内楽奏者として活動。数々の音楽祭、NHKFM 多数出演ほか、様々なオーケストラと協演を行う。現代音楽アンサンブル「アンサンブルノマド」のピアニスト、指揮者として活動するほか、ダンスや他分野とのコラボレーションも多い。夏木マリの「印象派」シリーズに連続出演、伊藤ひろ子、故・頼近美津子、平野文の朗読と音楽のコラボレーション、「Just Composed in Yokohama 2003」(横浜)、「超難解音楽祭」(仙台)音楽監督・プロデュースなどの活動を行う。02年から(財)地域創造の登録アーティストとして国内各地の公共ホールでユニークなワークショップおよびコンサートを行う。現在、お茶の水女子大学、桐朋学園大学で後進の指導も行っている。01年度宮城県芸術選奨新人賞受賞。

公式ホームページ→
<http://www.nakagawakenichi.jp>

全席指定 ■一般4,000円 ■学生2,000円

◎チケットお取扱い
津田ホールチケットセンター 03-5355-1299
チケットぴあ(Pコード: 222-914) 0570-02-9999
CNプレイガイド 0570-08-9990
東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650
ミリオンコンサート協会 03-3501-5638

◎お問合せ 津田ホール
TEL.03-3402-1851 FAX 03-3402-7901
e-mail info@tsudahall.com
URL <http://tsudahall.com/>
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-18-24

※やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、出演者・曲目変更などのために払戻はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
※未就学児のご入場はご遠慮いただいております。

ピアノ×パーカッション。

20世紀前半を代表して異彩を放った作曲家、ストラヴィンスキーとバルトークが残した2台ピアノのためのふたつの作品、「春の祭典」[ピアノデュオ版]と「2台のピアノとパーカッションのためのソナタ」。ここでは、ピアノはときにパーカッションのように荒々しくぶつかり合い、まさにこの2種の楽器たちが野性をむき出しにして躍動する。

バルトークの同作品やストラヴィンスキーのCDをリリースするなど、両作曲家の作品に精通する廻由美子。現代音楽のスペシャリストであり、また楽曲分析を交えたレクチャーコンサートやワークショップなどでも定評のある中川賢一。高度な音楽性や技術を要するこの2作品の演奏にいま最も相応しい2人のピアニストの全開のパワーはもちろん、バルトークと「タルカス」のパーカッションで加わるリズムの化身たち、神田佳子と佐々木啓恵との共演も聴きものだ。

天地を揺るがし命の鼓動が肉体を刺激する、ピアノ×パーカッションの響宴を聴き逃す手はない。



神田佳子 [パーカッション] Yoshiko Kanda, percussion
横浜生まれ。東京藝術大学卒業及び同大学院修了。ドイツ・ダルムシュタット国際現代音楽夏期講習会で奨学生賞を2度受賞。国内主要オーケストラとの共演や、東京オペラシティ主催リサイタルシリーズ「B→C」(1998)や「題名のない音楽会」などに出演。2002年ヴァイオリンと打楽器のCD「ソルト&ペッパー」をリリース。一柳慧、松平頼暁、高橋悠治、近藤譲等をはじめとする多くの作曲家の作品を初演し、若手作曲家との共同作業も多く行っている。カーネギーホール(アメリカ)にて正倉院復元楽器「方響」の演奏など、時代を超えた打楽器演奏の可能性にアプローチするほか、独自のリズムワークショップも展開中。作曲も手掛け、ニューヨークをはじめ国内外で演奏されている。東京現音計画、Ensemble contemporary α、パーカッショントリオ「The Birds」、「TANAKANDA」等のメンバー。
公式ホームページ→ <http://www.yoshiko-kanda.com/>



佐々木啓恵 [パーカッション] Hiroe Sasaki, percussion
八戸市生まれ。1995年東京藝術大学卒業。打楽器を有賀誠門、三上恭伸、マリノバを高橋美智子の各氏に師事。現在フリーの奏者としてあらゆる方面で活動。96,97年NHK-FMリサイタル出演。99年シンガポール交響楽団の公演・レコーディングに参加。アンサンブル of トウキョウ 第12,13,15回アフニス音楽祭ではティンパニストを務める。また、劇団四季ミュージカル「夢から醒めた夢」(03)、「ライオンキング」(06~11)、東宝ミュージカル「マイフェアレディ」(07)、「モーツァルト」(07)、04年蜷川幸雄演出「タイタス・アンドロニカス」/Wシェイクスピア01年パルコ劇場主催/ストラヴィンスキー「兵士の物語」(共演:篠井英介、いっこく堂他)等舞台への出演も多い。10年には、小椋佳コンサート全国ツアーに参加。パーカッショントリオ「The Birds」メンバー。